【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて　～開国の港、浦賀の自然と歴史を訪ねる～

日時：2025 年 11 月 19 日（水） 22 日（土） 10:00～14:45

場所：横須賀市

参加者：一般３９名（19 日 21 名、22 日 18 名） スタッフ１１名（実数）

10 月の『自然を訪ねて』は 2 日とも雨で中止となりましたが、11 月は天候も安定して両日とも好天のもと実施できました。京急浦賀駅を出発、西浦賀と呼ばれる浦賀湾の西側から歩きました。先ず地元の生徒たちが描いた幾枚かの巨大な絵が目に入ります。浦賀所縁のペリーの蒸気船や吉田松陰などが描かれており生徒たちの浦賀への郷土愛を感じます。浦賀はかつて江戸幕府の奉行所が置かれ江戸を守る重要拠点でした。しかし奉行所跡は今は広い空地となっていて当時の面影はなく、取り囲む丘と海で往時を偲ぶしかありません。お弁当を食べた後は渡船で東浦賀に上陸‼、船着き場には吉田松陰や佐久間象山が日本の将来を語り合ったという徳田屋跡の案内板がありました。東浦賀地区には勝海舟が咸臨丸で米国に行く前に水垢離したという東叶神社や東林寺、専福寺、乗誓寺と言った立派な寺が並びます。それらはかつて全国の干鰯を扱う干鰯問屋が集まり経済的に非常に繁栄していたことを物語っていました。最後は再び浦賀駅に戻り解散しました。詳しくは会報報告をご覧ください。　（鈴置記）

随所の案内板にて説明

西叶神社

浦賀奉行所跡

浦賀の渡船